## 遊文通信

2020.Dec

#### 今回の遊文通信は…

- 遊文舎 Web サイトフルリニューアル
- 遊文舎の SDGs への新たな取り組み

## 遊文舎Webサイトを フルリニューアル

### 皆様の知りたい情報を極力わかりやすく 提供できる Web サイトにする

#### 目指したのは「ふと思い起こすようなサイト」

今回のリニューアルでは「ユーザー様の使いやすさ」というコンセプトを明確にし、ユーザビリティや導線を意識しました。誰にでも使いやすく分かりやすいように、コンテンツの名前をシンプルな表現に変更し、デザインも「あたたかさと誠実さ」を伝えられるように、一新しました。特に意識したのは、サイトを見て頂いた方が印刷物作成でお困りの時に、ふと思い起こして頂けるような、そんなサイトにしたいという事でした。

お問い合わせフォームへのリンクを各ページに配置し、どのページからでもユーザー様がご質問・お問い合わせをして頂ける事を可能としました。また、現在見ている階層のメニューに色をつけ、Web サイト内のどの位置にいるのかを視覚的に分かりやすくしました。

#### 挑戦は始まったばかり

Web サイトは作成して終わりではなく、作ってから<mark>がスタートです。今後も AB テスト<sup>(2)</sup> などを継続して行い、よりお客様に使っていただきやすい Web サイトになるように創意工夫をしていきたいと思います。</mark>

弊社は印刷や製本だけでなく、Web サイトのデザインや制作も行っております。今回のサイトリニューアルはデザインからコーディングまですべて弊社で行いました。皆様の Web サイト制作・リニューアルのご相談など、気軽にお声がけしていただければ幸いです。心よりお待ちしております。

(マーケティング課リーダー 川上拓也)

- (1) インターネット上の通信を暗号化すること
- (2) 2つの比較対象物を用意して、どちらの方がよりアクセス数が高いかを測定する Web マーケティング施策

※リニューアル、常時 SSL 化に伴い、URL が変更になりましたのでブラウザ のブックマーク、お気に入りなどに登録していただいている場合は、新し い URL (https://www.yubun.co.jp/)へ登録変更をお願いいたします。



遊文舎の企業としてのあたたかい雰囲気をイメージ化するため、写真はすべて社員を撮っています。とくに最終現場である「印刷・製本」に集中して、その専門職としての自信とものづくりの喜びを感じていただけるよう、試行錯誤をかさねました。社内からの反響に応じて、さらなる深化を継続中です。





この

10

月

15

に際しての私たちのミッションを、

すべてのページについて、

常時SSL化を実施いたしました。

また、安全にWebサイトを

[大阪本社] 〒532-0012 大阪市淀川木川東 4 丁目 17-31

TEL: 06-6304-9325 (代) FAX: 06-6304-4995

[東京支店] 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2丁目20-7 水道橋西口会館8F

TEL: 03-5357-1420 FAX: 03-5357-1421

https://www.yubun.co.jp/

E-mail: info@yubun.co.jp

# 遊文舎の SDGSへの新たな

SDGs (持続可能な開発目標) とは、Sustainable Development Goals の略で、国連加盟 193 か国が 2016 年~ 2030 年の 15 年間で達成する行動計画です。持続可能で多様性と包摂性のある 17 の大きな目標と具体的な 169 のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない世界」の実現を誓っています。

日本では、既に小学校の学習指導要領に盛り込まれており、来年には中学校にも盛り込まれるほど、私たちの社会にも浸透しつつあります。遊文舎も SDGs の取り組みに賛同し、昨年から新たな活動に取り組んでいます。今回は、その一部をご紹介します。

#### まずは地域の皆様へ

(まるかみ)

無料配布

使われることなく再生紙として生まれ変わる端紙や余り紙。 それらを有効に活用できないか、還元できないか。そんな考 えから「ほるかみ」の取り組みが生まれました。

#### ネーミングに込める思い



「ほるかみ」は、印刷の際に出る 余り紙や製本の際に回りに出る端紙 など、さまざまなサイズ・色・種類 の端紙をひとつのセットとして無料 配布する取り組みです。

ネーミングは社員から募集しました。関西弁で「捨てる」を表す「ほる」と紙の価値を「掘り(ほる)」起こす、からきています。使われることなく終わってしまう紙に新たな活躍の場を提供するよう、ひと工夫で新たな価値を付けられるよう、どんどん掘っていこうと思います。

#### 感動的な光景に達成感

月に一度、遊文舎 1F に特設ブースを設置し、自由にお持ち帰りいただくことにしました。10、11 月に一度ずつ行った際には、幼稚園のお迎えのお母さん、遊文舎からの発信で知ったご近所の方、公園へ遊びに行く途中の小学生。お越しになるたくさんの地域の方々に配布し、半日で予定分はほぼなくなるほどご好評いただきました。

その様子を目撃した担当者が感動するほどで、「ほるかみ」の無料配布やそれにより子どもたちや地域の皆さまに喜んでいただけることは、SDGsの目標達成への貢献と同時に、従業員の新たなモチベーション向上にも繋がると感じています。



#### 「地球にやさしい 印刷プロジェクト」の企画

環境にやさしい素材からできた環境配慮型用紙と環境面に配慮したデジタル印刷機。このふたつの活用によりお客さまの SDGs への取り組みを印刷物でお手伝いできるプロジェクトを企画しています。今後の提案にご期待ください。

#### 環境配慮型用紙 一銀雪一

一般的に紙は木から作られますが、木の違法伐採による災害など大きな環境問題につながっています。そういった問題点から、「環境に配慮した用紙」の需要が増えています。

ただエコな用紙ではなく、それぞれに優れた機能や特徴をもっているため、印刷物のブランディングやオリジナリティを高めることにも繋がります。



【制作事例】カレンダー、マスクケース

#### デジタル印刷機

遊文舎は7台のデジタル印刷機を保有しています。これらは環境面においてはオフセット印刷機より優れています。刷版や大量の余剰用紙の必要がないため、製品に係る環境負荷が軽く、オフセット印刷に比べて CO<sub>2</sub> の排出量を大幅に抑えられます。

このようにデジタル印刷機で環境への配慮を行うだけでなく、もうひとつの特徴である金・銀といった特色による効果的なアクションで、品質面においても製品価値の向上を期待できます。

遊文舎は、今後とも SDGs に向けた取り組みを進化させて参ります。 SDGs は大きな目標ですが、一人ひとりの手の届く範囲から一つずつ良くしていくことが肝要だと日々痛感しています。 (制作マネージャー 米田達生)

#### ■編集後記

今回ご紹介したように遊文舎では 2020 年最後まで新しい試みに挑戦してまいります!ご意見やご指摘などございましたら、ぜひ担当営業宛に皆様のお声をいただければ幸いです。私個人としましては環境配慮型用紙「銀雪」に使用している"漆喰塗料"は5分でウィルス残存率が99.9%減少するそうなので、注目していきたいと思います!

さて、2020年の『遊文通信』は今号が最後となりました。まだ12月が始まったばかりですが、本年もご愛読いただき誠にありがとうございました。来年も少しでも皆様のお役に立てるよう精進してまいりますので、よろしくお願いいたします!(まるめがね)

#### - 今月の紙

紙:ニュー V マット 菊判 62.5kg